

日本の介護保険下のサービス

- 日本社会の高齢化に伴い、要介護高齢者の増加・介護期間の長期化など介護ニーズは増大する一方、核家族化の進行や介護者の高齢化などの家族状況も変化しており、これらに対応する形で「高齢者の介護を社会全体で支えあう仕組み」として2000年に介護保険法が施行された。
- 日本の介護保険制度を特徴として以下の3つの概念が挙げられる。
 1. 自立支援 単に身の回りの世話をするだけでなく、自立を支援することを理念とする
 2. 利用者本位 利用者の選択により、多様な保健医療福祉サービスを総合的に受けられる
 3. 社会保険方式 給付と負担の関係が明確な社会保険方式を採用
- 介護保険の適用対象となるサービスは多数存在するが、大きく以下に分類できる
 - 「居宅サービス」 ：家で受ける、または家から通って受けられるサービス
 - 「施設サービス」 ：施設に入居して受けるサービス
 - 「地域密着型サービス」 ：身近な地域で生活が継続できるよう、地域の実情・ニーズに沿って提供されるサービス（2005年に新設）